

天衣無縫

如春会 浦田医院 院内報

＝15号 令和2年11・12月号＝
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

～5報～

昨年の12月に中国で第1例が報告された新型コロナウイルス感染症は、今年1年でまたたく間に全世界に拡がり、10月30日時点での感染者数は約4500万人、亡くなった方は約118万人に及んでいます。最近では、欧米を中心にさらに増加しつつあります。

わが国においても本年1月が国内発生第1例で、感染の波をくり返しながら10万人を越え、約1750の方が亡くなりました。またわが熊本県においても、いくつかの集団発生（クラスター）を伴って特に7月に入り増加がめだち、感染者は786人、亡くなった方は8人となっています。

しかしこの間、診断や治療体制も進歩し、重症者や死亡者は1～5月と比べ減少しています。またワクチンもだんだん目途が立ってきて来年には実用化されると思われる。しかしこれから冬を迎え、インフルエンザの流行に伴いより一層の注意が必要となり、11月より熊本県も含めて全国での新型コロナウイルス感染症の診断・治療体制や相談体制が変更されましたのでご説明します。

1. 相談体制

これまでは保健所が電話相談を受けていましたが、これからは11月中旬頃（改めて県より発表されます）より、受診に関する相談はかかりつけ医が受けることとなりますので、発熱や息苦しさなどのある方はまずかかりつけ

医に電話をして下さい。かかりつけ医がない場合やどこに受診するか迷う場合は、各地区の医師会ごとに「受診案内センター」が設けられます（11月中旬以降の予定で、県より発表されます）ので、そこに電話して下さいと適切な医療機関を案内します。受診以外の一般的な相談は県のコールセンターがこれまで通り受けます。これから発熱等の症状を診療する医療機関は「診療・検査医療機関」と呼ばれ県に登録されており（玉名郡市では45ヶ所で当医院も登録されています）、かかりつけ医が登録医療機関でない場合も、適切な医療機関を紹介してくれます。この受診案内体制は24時間受け付けます。

2. 診断・治療体制

これまでの新型コロナウイルス感染症の診断は、鼻咽頭ぬぐい液を用いた核酸増幅法（PCR、LAMP法）と呼ばれる検査が主体でしたが、唾液でも可能となりまたこれらに加え、ウイルス抗原蛋白を測定する迅速検査が普及し始めており、約15分で判定可能です。また鼻咽頭に深く綿棒をそう入して採取した鼻咽頭ぬぐい液に加え鼻の浅い部分の鼻腔ぬぐい液でも検査が可能となり、患者さんの負担も減ると思います。また検査の精度も症状が出て2日めから9日めまでの間は、これまでのPCR法と同等の感度がありますので、特にインフルエンザと区別する場合インフルエンザと新型コロナの同時に迅速な検査が可能です。治療についてはレムデシビル、ステロイド薬に加え、近々アビガンの内服も医療保険適応となる見込みで、早期治療及び重症化予防の治療体制が整いつつあります。

3. 予防

これまで通り、密集・密閉・密接の“3密”を避けること、飛沫・接触感染予防のためマスクをすること、さらには新型コロナウイルスはインフルエンザウイルスと同じように体内には口や鼻を介して侵入してきますので、手洗いに加えうがいの励行を心がけること、また体力や免疫力を減らさないよう快眠快食で疲れをためないようにすることです。

ワクチンは恐らく来年中には実用が可能となると思われますが、その時期は未定です。これらの基本的な予防

と早期発見・早期治療で新型コロナウイルス感染症の被害を最小限にしたいと思います。

それでは皆様がよいお年をお迎えになるようお祈りします。

浦田医院 浦田誓夫

正しい手洗いうがいを身につけましょう

「手洗い」「うがい」は、ふつうの風邪やインフルエンザの他に様々な感染症を予防するために効果的です。正しい「手洗い」「うがい」を身につけて、病気の予防に心がけましょう。

手のひらをあわせて、
5秒間洗う



指先やつめの間も、
渦を描くように5秒間洗う



親指を手のひらで
ねじるように5秒間洗う



手の甲を伸ばすように、
5秒間洗う



指の間も十分に、
5秒間洗う



手首も忘れずに、
5秒間洗う



うがいしやすい量（約60mL）の水や緑茶（殺菌作用があるといわれています）、または希釈したうがい薬をコップに用意します。これを使って3回にわけてうがいをします。

1回目は口の中の食べかすなどを取る目的で、口に含んで強くうがいます。（いわゆる“クチュクチュベッ”）

2回目は、上を向いて、のどの奥まで届くように15秒程度うがいます。（いわゆる“ガラガラベッ”）

3回目はもう一度“ガラガラベッ”をします。



★事務部からのお願い★

～保険証について！！～

月初めの診察時には、保険証の提示にご協力下さい。また、保険変更の場合は、出来るだけ早く窓口までお知らせ下さい。

※円滑な請求事務の為にご協力くださいますよう、